

尚学塾特別講義の感想文を読んで

富山県薬事研究所 高津聖志

平成25年10月に母学で尚学塾特別講義をする機会を頂いた。私は37年間にわたり大学で免疫学・炎症学の教育と研究に携わってきているので、「IL-5 とともに 40年・生体制御・免疫の研究に魅せられて」の話をした。「研究生活のおもしろみと拮がり」の一端を伝えたいと思っていた。また、平成25年度より高校生物の教科書と教材に「生体防御」が新たに組み込まれ、高校生物の授業で免疫学が教えられていることもあり、大学での講義の場合と同じように、綿密に授業の準備もした。

この度、特別講義に参加した生徒の感想文を送って頂いた。48人の生徒の感想文を一気に読んだ。感激した。各生徒は正直に感想を書いてくれていた。授業は若干難しかったようであるが、私の伝えたいメッセージは彼らの心に響いていたことがうかがわれ、殊の外嬉しかった。「さすが深志の後輩だ」と思わせる文章もたくさん見受けた。免疫の勉強をもっとしてみたい、研究者になってもおもしろいかも、との感想文が多く寄せられたことも私を嬉しくさせた。

後輩諸君が、将来の進路をあまり計算せずに決め、大いなる運と支援者にも恵まれて、「夢みて行い考えて祈る」豊かな人生を羽ばたいて欲しいと願っている。将来、私の授業の一端がいつか一瞬でも後輩の頭をよぎることがあれば、望外の喜びである。

感想文をPDF化してお送りいただくなどきめ細かい心遣いをして下さいました、あきつ会同窓会関係者に心よりお礼と感謝を申し上げます。お世話になり、有難うございました。